



浅中生の底力を見せるとき！ <基礎学力向上コンテスト>

12月19日(金)に実施された基礎学力向上コンテストの結果は以下の通りです。

	コンテスト内容	満点(受験者数)	平均点	合格者率
1年	社会科	97人(137人)	95.9点	94.9%
2年	計算	45人(110人)	90点	88.2%
3年	スペリング	87人(131人)	94.4点	88.5%

3年生にとってはラストのコンテストでしたね。プレテストで不合格者が60人という衝撃的な結果が出て、先生も生徒も危機感を覚えましたが、本番では有終の美を飾ることができました。英検や入試問題の過去問に必ずと言っていいほど使われている熟語を厳選したので、これからも役に立つことでしょう。

2年生は、みんなが満点を狙っていたと思いますが、1、2問間違いの人が多く本当に惜しかったです。計算は解き方をしっかりと覚え、数字が変わっても正確に解けることが求められます。そして何度も演習することで精度が上がります。引き続きがんばっていきましょう。

1年生は、恒例の都道府県と県庁所在地の名前のテストでした。2、3年生も記憶にあると思いますが、新潟の「潟」や那覇の「霸」の漢字に苦労した人が多かったです。最終的にはほとんどの人が書けるようになってほっとしましたが…。今回は合格したものの、中国・四国、九州地方になると位置と名前が一致しづらい人が多いので、今のうちにしっかりと覚えておきたいですね。

全体的に、今回のコンテストもみなさん、がんばりました。3年生は、このコンテストの取り組みでの集中力を活かして、受験に向けてのラストスパートをかけましょう。1、2年生は、1月にスペリングコンテストが控えています。これから「冬休み」という、コツコツ覚えるには最高のチャンスと時間があります。宿題でなくても自分のための勉強ができる人になれば素敵ですね♪

次回のコンテストは
1月23日(金)

1年 スペリングコンテスト

出題範囲:一般動詞の原形・過去形
ポイント:意味一原形一過去形を
発音しながらセットで覚えます

2年 スペリングコンテスト

出題範囲:不規則動詞の変化
原形一過去形一過去分詞
ポイント:昨年のスペコンで覚えたセ
ットに過去分詞を足すだけです

自分に合った単語の覚え方を
早く見つけよう！

声に出しながら覚える

英単語を覚えるときには、ただ単語を眺めるだけでなく、声に出して実際に発音しながら覚えましょう。目で見て、声に出して、音を聞いて覚えることで、より頭に残りやすくなります。

日本語からでも英単語からでも訳せるように覚える

英単語を覚えるときは、英語→日本語に、日本語→英語にと、英語からでも日本語からでも両方から訳せるように覚えるようにすると記憶が定着しやすいと言われています。まず覚えたい単語の日本語訳を隠して、英語を日本語に訳していきます。1周したら、今度は英語の方を隠して、日本語から英語に訳していきましょう。言えるようになったら、今度は書けるか正確に書けるか確認しましょう。

覚えていない英単語に集中的に触れる

英単語を覚えるには、繰り返し触れることが不可欠です。まず覚えた単語と覚えていない単語を仕分け、覚えていない英単語の学習を集中的に行うようにすると効率的です。例えば、単語テストのリストをまずは1周します。その際、覚えられていない単語や不安が残る単語には印を付けます。印が付いた単語は、改めて意味を理解します。次の2周目は印が付いた単語を見直します。またその時に覚えられていない単語に印を付け、さらに3周目……というように、覚えられていない単語の学習を繰り返し行うと効率よく覚えることができます。

書くことを「こなす」だけでは覚えられない

とにかく書いて覚えようと「1つの単語を10回ずつ書く」といったやり方をしていませんか?この場合、「書く」作業をこなして満足してしまいがちです。書いて覚えようとすること自体はよいのですが、単に書くこと自体が作業化してしまうと頭に残りません。ただ腕の運動で疲れるだけです。大切なのは、しっかりと覚えられるようにやり方を工夫し、何度も繰り返し復習することです。

復習は定期的に行う

英単語は一度覚えたと思っても、忘れやすいものです。記憶を定着させるには、定期的な復習が欠かせません。人間の脳は何度も繰り返し入ってくる情報を重要な情報と判断し、長期的な記憶として定着させるとされています。そのため、何度も繰り返し復習するのが効果的なのです。